

令和4年度 年間指導計画 《つくし組》

園長			副園長		
主幹		担任			

クラスの保育目標	◎衛生的で安全な環境の中で、神さまの見守りのもと、健康に過ごせるようにする。 ◎一人ひとりの要求を受け止め、保育士との温かい関わりの中で信頼関係を築いていく。 ◎個々の発達に合わせて、離乳や歩行の完成、発語の意欲を育む。			
食育	・一人ひとりの全身機能、感覚機能の発達や、咀嚼の状況にあった食事内容、援助方法をとっていく。 ・安心、安らぎの中で母乳、ミルクを飲み、離乳食を食べる経験を通して一生を通じての食べることの基礎を作っていく。	保健	・子どもの健康に関する保健計画を作成し、月齢にあったねらいや内容を保育士全員が明確に把握し、一人一人の健康を守り、その増進に努める。	
期	1期（4～6月）	2期（7～9月）	3期（10～12月）	4期（1～3月）
期のねらい	・家庭での日課と調和させながら、1日を通して安心して過ごしていけるようにする。 ・育児は基本、担当が行うようにし、信頼関係が築いていけるようにする。	・梅雨期から夏期の環境に配慮し、清潔で気持ちよく過ごせるようにする。 ・個々の体調を把握し必要に応じて沐浴や水遊びを楽しむ。 ・夏の感染症などが流行しやすくなるので健康面や衛生面には十分配慮していく。	・秋の自然に触れ、探究心を育む。 ・季節の変化や気温差に留意し、健康的に過ごせるようにする。	・冬の感染症などが流行しやすくなるので健康面や衛生面には十分配慮していく。 ・進級する際に生活の流れや手順、環境が変化することを踏まえ、少しずつ生活の中に取り入れることで安心して過ごせるようにする。
家庭との連携	・登降園時や連絡帳では、園での様子を細かく伝え、一人ひとりの保護者との信頼関係を深める。 ・離乳食やミルクの状況、咀嚼の仕方、手首の発達などを連絡し合い、食事の形態や量、時間、味を話し合い、進めていく。 ・感染症の際には家庭との情報交換をしっかり行い、迅速に対応していき協力をあおぐ。		職員資質向上	・保育所内外の研修等に積極的に参加し、知識技術の習得、維持、向上に努める。研修内容を保育士全員で、検討、見直しを図る。
長時間保育	・保育士間、夜間保育士との連絡、協力を密にし、家庭との連携がスムーズに行えるようにする。 ・長時間(延長)保育では疲れが出ないように一人ひとりとゆっくりと関わっていく。		保育の自己評価	・常に P-D-C-A の循環に心がけ、保育士間で連携しながら保育を行うことができたか。 ・子どもが主体的に遊ぶための保育環境・人的環境を作ることができたか。